

報告第4号

株式会社夢街人とうじょうの経営状況の報告の件

株式会社夢街人とうじょうの経営状況について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

令和4年6月3日提出

加東市長 岩 根 正

経営状況報告書

株式会社
夢街人とうじょう

目 次

第23期 事業報告	1～12
参考資料1	
令和3年度道の駅とうじょうオリジナル商品等の売上状況	13～14
広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況	15
道の駅とうじょう利用状況	16
道の駅とうじょう売上状況	17
決算報告書	18～24
貸借対照表	19
損益計算書	20
販売費及び一般管理費	21
株主資本等変動計算書	22
個別注記表	23
監査報告	24
参考資料2	
比較決算報告書	25～30
第23期部門別損益計算書	31
営業契約書（抜粋）	32～35
部門別人件費資料	36
第24期 事業計画	37～41
収支計画	42

第 2 3 期 事 業 報 告

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 3 1 日

1. 事業概要

第23期は、前年より延期された東京2020オリンピック・パラリンピックや、北京2022オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの国民が日本選手の活躍に沸きました。また、ロサンゼルス・エンゼルスの大谷選手がアメリカン・リーグ最優秀選手に選出されるなど、明るい話題もありましたが、新型コロナウイルス感染症による収束の見えない深刻な状況が続き、1年のうち大半が緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されていたことによって、国内経済に多大な影響をもたらしました。

このような状況の中、道の駅とうじょうにおきましては、第一四半期は、前期3月末日までの緊急事態宣言の反動もあり、前期の売上を大幅に上回ったものの、第二四半期は、8月の書き入れ時であるお盆時期の記録的な大雨が影響し、売上は厳しい状況に転じました。第三四半期は、新型コロナウイルスワクチンの予防接種が進み、経済活動も動き始めた10月下旬からは、ふるさと応援！ひょうごを旅しようキャンペーン+（プラス）が実施されましたが、前期に実施されたGoToトラベルキャンペーンのような集客には結びつきませんでした。第四四半期は、お正月三が日のみ、売上・客数共にコロナ禍前を大きく上回ったものの、1月中旬から2月中旬にかけての例年になく寒波と新型コロナウイルス感染者数の増加による客数の減少が売上にも大きく影響し、通期において特産館と直売所の売上は前期実績にわずかに届きませんでした。

その中でコンビニは、10年ごとに行う本部契約に基づいて6月に全面改装を行い、消費者のライフスタイルに合わせて品揃えを一新し、売上・客数共大きく伸ばすことができました。

なお、当期は前期令和3年2月に実施した特産館と直売所のPOSレジ入れ替えに伴う減価償却費の大幅な増額と、コンビニ改装に伴う固定資産除却損もあり、全体の業績は、381万円の損失になりました。

(1) 事業実績

日 時	事 業 内 容
令和3年4月5日（月）	まん延防止重点措置実施 4月24日まで

令和3年4月25日(日)	<p>緊急事態宣言発令</p> <p>特産館・直売所は4月29日～5月11日9時～18時の時短営業</p> <p>獅子銀は4月25日～5月11日9時～20時の時短営業</p> <p>※アルコール提供不可</p> <p>駅ラーメン華は4月25日～5月11日11時～15時30分/17時30分～20時30分</p> <p>a t r e s tは4月25日～5月11日12時～20時の時短営業</p> <p>※おもちゃ王国は4月27日～5月14日休業</p>
令和3年5月12日(水)	<p>緊急事態宣言延長 6月20日まで</p> <p>特産館・直売所は5月31日まで9時～18時の時短営業 (※6月1日～30日9時～18時30分の時短営業)</p> <p>獅子銀は6月20日まで9時～20時の時短営業</p> <p>駅ラーメン華は6月20日まで11時～15時30分/17時30分～20時30分の時短営業</p> <p>a t r e s tは12時～20時の時短営業</p> <p>※おもちゃ王国は5月15日営業再開、6月30日まで金、土、日の営業</p>
令和3年6月2日(水)	<p>コンビニ改装のため20時で営業終了</p> <p>改装期間6月3日～6月16日一時閉店</p> <p>※おもちゃ王国6月は金、土、日のみ営業</p>
令和3年6月17日(木)	<p>コンビニリニューアルオープン 午前7時開店</p>
令和3年6月20日(日)	<p>緊急事態宣言解除</p> <p>a t r e s t 営業時間変更 12時～21時</p> <p>獅子銀、駅ラーメン華は引き続き時短営業</p> <p>6月21日～7月11日まん延防止重点措置</p>
令和3年7月16日(金)	<p>特産館・直売所は8月31日まで夏休み期間につき全日9時～19時 営業時間を延長</p> <p>獅子銀、駅ラーメン華は引き続き時短営業</p> <p>※おもちゃ王国7月10日よりプール営業開始(8月30日まで)</p>
令和3年7月23日(金)(祝)	<p>加東市ワンチーム商品券取扱開始</p> <p>取扱期間：令和4年1月31日まで</p>

令和3年7月25日(日)	農産物直売所 すいか即売会
令和3年8月20日(金)	緊急事態宣言発令 獅子銀、駅ラーメン華はアルコール提供停止 a t r e s tは12時～20時の時短営業
令和3年8月28日(土)	農産物直売所 ジャンボかぼちゃ・ハロウィンかぼちゃコンテスト
令和3年10月1日(金)	緊急事態宣言解除 獅子銀、駅ラーメン華がアルコール提供再開 a t r e s tは12時～21時に営業時間変更
令和3年10月11日(月・祝)	特産館・直売所クレジット端末入替のため臨時休業
令和3年10月22日(金)	「ふるさと応援！ひょうごを旅しようキャンペーン」 ふるさと応援旅クーポン取扱開始 令和4年2月2日から休止 令和4年3月22日再開、5月31日まで
令和3年11月1日(月)	第2弾県産酒米消費拡大キャンペーン開始 令和4年2月15日まで
令和3年12月18日(土)	J A山の芋部会 山の芋即売会
令和4年1月27日(木)	まん延防止重点措置実施 3月21日まで
令和4年3月14日(月)	特産館・農産物直売所レジ入替のため、臨時休業
令和4年3月15日(火)	北播磨日本酒かんぱい券取扱開始 令和4年8月31日まで

(2) 重点事項等への取組実績

重点事項等	取組実績
<p>・安全で快適な施設環境の維持を目的として、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した施設の整備に努める。</p>	<p>・情報コーナー、コンビニのゴミ箱において家庭内ゴミの廃棄が多発したため、利用者に廃棄防止を訴えかけるPOPを各所に配置した。同時に喫煙場所の徹底、情報コーナーでの短時間の利用を促すPOPを配置し、衛生環境を悪化させないように努めた。また、男女トイレの手洗器排水詰まり、男女トイレ水漏れ、詰まり等の発生に対して、迅速に修繕対応を行った。</p>

<p>・地場産品の展示販売、消費拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して来駅者と地域住民の交流を促し、活性化に貢献できるよう実行する。</p>	<p>・GW、コンビニ改装時及びお盆の繁忙期には安全に出入りしていただけるよう、駐車場に警備員を配置した。また、安心して施設を利用していただくために、店内複数の出入口に消毒液を配置し、定期的な換気、設備及び備品の消毒を行った。スタッフに対しては、日常の健康管理の徹底、接触感染防止として複数人共用する物品や機器の消毒をこまめに実施した。来駅者に対してはマスク着用の徹底、多人数でのレジ会計回避、レストラン以外での施設内飲食回避のPOPを配置、店内アナウンスを実施して感染予防のための啓蒙活動を行った。</p> <p>・今期のイベントは「すいか即売会」、「ジャンボかぼちゃ・ハロウィンかぼちゃコンテスト」及び「山の芋即売会」を実施した。</p> <p>イベント時期や新商品発売時に合わせてホームページ・フェイスブックを更新して、集客を行った。また、兵庫県のホームページをこまめにチェックし、ふるさと応援！ひょうごを旅しようキャンペーン+（プラス）の早期申請、他県の道の駅ホームページを参考に新商品の取り扱いを検討、10月には特産館・直売所の混雑時におけるレジ業務をスムーズに行うため、クレジット端末を4台のレジに繋げ、なおかつ手数料率の低いクレジット会社に変更した。</p>
---	--

(3) 部門別の取組実績

部門	対前年比		取組実績
	売上	入込客数	
			①新規仕入先の開拓

<p>特産館「夢街人」</p>	<p>・対前年 99.7%</p> <p>・対前々年 103.7%</p>	<p>・対前年 100.0%</p> <p>・対前々年 100.5%</p>	<p>近隣道の駅を視察し、取扱商品や演出方法を調査して新規仕入業者を開拓した。さらに、現在取引を休止している業者へ再度アプローチを行い、既存顧客に飽きられないように品揃えを強化した。</p> <p>新規仕入業者 8社 取引再開業者 2社 売上金額 2,068千円</p> <p>②11月に実施した北播磨県民局『ハミングトリップ北播磨（北播磨魅力体験オンラインツアー）』（ラジオ関西）の特産品紹介では、山田錦特Aの産地を重点的に紹介し、参加者へのお土産品発送の際は、山田錦を使用したお菓子を選定して、加東市へ観光客を誘致できるよう、工夫を凝らした。</p> <p>③営業利益は前年比68.3%、売上は前年比99.7%であったが、前期に入れ替えをしたPOSレジの減価償却費の増額によって一般管理費がかさみ、前期実績には届かなかった。</p> <p>・営業利益 令和3年度 6,724千円 令和2年度 9,851千円</p>
<p>農産物直売所 「コスモスの館」</p>	<p>・対前年 99.0%</p> <p>・対前々年 109.9%</p>	<p>・対前年 100.1%</p> <p>・対前々年 114.8%</p>	<p>①地元生産者売上の強化</p> <p>いちご、ぶどう及び桃の生産者を各1名増員することができたことで出荷量が増加し、果物類の売上が前期比129.8%と大きく伸ばすことができた。</p>

			<p>②商品の安定供給のための生産者への働きかけ</p> <p>当期はシーズン前に黒枝豆の栽培減の情報を得たため、一部の生産者に揖鹿谷地区生産の黒枝豆を取り込めないか依頼して入荷させることができた。また、新品種のひかり姫の導入も行って、黒枝豆の入荷量の減少を食い止めることができた。</p> <p>③仕入商品と地元生産者商品のバランスを工夫</p> <p>売上に占める割合をコスモス会商品と仕入商品が7対3になるよう事前に計画し、計画通りの結果を出すことができた。併せて直売所の利益率を全体で17%以上を出すように計画した。コスモス会は利益率15%固定で商品点数も増えている中、仕入商品の利益率を22%以上出せるよう価格設定を工夫した。その結果、全体の利益率は17.4%となった。</p>
<p>コンビニエンスストア「ファミリーマート」</p>	<p>・対前年 104.4%</p> <p>・対前々年 100.1%</p>	<p>・対前年 100.3%</p> <p>・対前々年 90.3%</p>	<p>①店舗改装による顧客の利便性と客単価を上げて売上拡大を図る。</p> <p>改装前 R2.7月～R3.3月 売上 165,981 千円 客単価 645.3 円</p> <p>改装後 R3.7月～R4.3月 売上 177,387 千円 客単価 673.6 円</p>

改装前と改装後の同じ9箇月を比較すると客単価 28.3 円増になり、改装前より中食・冷凍食品・酒類の売場面積を拡大したことが売上と客単価アップに繋がった。

②前期からのコロナ禍による在宅需要の対策を実施（加工食品・日用品の品揃えの強化、日配商品・惣菜の鮮度延長）

当期はコロナ禍での需要が増えている衛生商品と家呑み需要による酒類コーナーの面積拡大に合わせて品揃えを充実させた結果、関連商品のおつまみや冷凍食品の売上が好調となり、このような相乗効果が他の商品にも波及して、売上を大きく伸ばすことができた。さらに惣菜、サンドイッチ、サラダなどの鮮度を延長した商品も増え、品切れする頻度も下がって販売機会を逃すこともなく、売場維持にも貢献することができた。

しかし、改装によっておにぎり、弁当などの中食売場の拡大で商品点数が増えたことと、商品カテゴリー別の売上傾向を見るため、積極的な発注を行ったことにより、廃棄額は前期より 1,129 千円増（17.5%増）の 7,590 千円の結果となった。

廃棄額

令和3年度	7,590 千円
令和2年度	6,461 千円

			<p>廃棄率</p> <p>令和3年度 3.6%</p> <p>令和2年度 3.2%</p> <p>③道の駅内で客数と勤務スタッフが 一番多いコンビニでの新型コロナウイルス 感染防止対策として、改装時にセルフ レジを導入した。店頭にはマスク着用、 飲食・喫煙禁止、家庭内ゴミ持ち込み の禁止のPOPを目立つように配置し、 お客様への感染防止に尽力した。</p> <p>スタッフに対しては、健康管理の徹底 と体調不良時に正直に申告しやすい雰 囲気を醸成するように努め、重要な連 絡・注意事項は漏れのないようLINE で発信して、営業活動に支障が出ない よう留意した。</p>
<p>レストラン「獅子銀」</p>	<p>・対前年 96.5%</p> <p>・対前々年 81.7%</p>	<p>・対前年 98.3%</p> <p>・対前々年 80.1%</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症対策 として、県の適正店認証制度を申請。 客席にはアクリル板を設置し、座席の 間隔の確保、お客様には『黙食』の 徹底を周知するなど、前期より感染に 配慮した店舗運営を行った。</p> <p>②コロナ禍で酒類提供不可及び夜の 会食需要が見込めない中、以前から 導入しているランチタイム限定のポ イントカードについて、毎週金曜日 にポイント付与2倍デーを実施し、 固定客確保に努めた。また、季節ご との企画として4月、5月は晴れた 日御膳、7月、8月は夏野菜たっ</p>

			<p>ぶりカレー、うな重を提供した。同時に繁忙期には単品メニューを増やし、客単価のアップを図った。</p>
「駅ラーメン ^肆 華」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 112.6% ・ 対前々年 104.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 114.0% ・ 対前々年 103.4% 	<p>①新型コロナウイルス感染症対策として、県の適正店認証制度を申請。カウンター席・テーブル席にアクリル板を設置し、お客様同士が共用する備品の消毒の徹底、店内手洗い器による手洗いの推奨、黙食の徹底を周知し、狭い店内でもお客様に安心して来店していただけるような、店舗作りを行った。</p> <p>②ゆで麺機など厨房機器の修理や天井換気設備のメンテナンスを実施して、作業効率が上がったことでランチタイムの固定客が増加し、売上は前期実績を大幅に超えることができた。</p>
アロマリラクゼーションサロン 「もみの木HOUSE」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 58.6% ・ 対前々年 52.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 60.9% ・ 対前々年 47.1% 	<p>①利用客から他のお客様との接触を避けて感染リスクを抑えたいとの要望を受け、前期3月より1名で運営している。リモートで、自宅でできる・家族にできるアロママッサージを提案したところ、感染者数が落ち着いた際には予約も増え、以前より既存顧客との繋がりが強化でき、紹介による新規顧客の開拓にも繋がった。</p> <p>②アロマオイル等の仕入先を通しての同業者との情報交換を行い、SNSの発信方法などコロナ禍における店舗運営に活か</p>

			<p>した。1名での運営になり、売上・客数共に減ったものの、2名での運営時の6割の実績が上がっており、アロマ需要者が増えた。</p> <p>他の道の駅にはない施設であるため、女子トイレなどにアロマグッズを設置し、居心地の良い道の駅としての話題作りと新規顧客の開拓に繋げていきたい。</p>
<p>トータルボディメンテナンス 「at rest (アットレスト)」</p>	<p>・対前年 214.2%</p>	<p>・対前年 182.4%</p>	<p>①前期の9月16日にオープンして以来、着実に固定客を増やしている。緊急事態宣言中の営業時間は1時間繰り上げて20時の閉店であったが、売上に影響なく、3月以外は客数が前期を大幅に超えていた。総客数の約8割がリピート客。これからも予約可能な時間をSNSや店頭POPでタイムリーに発信すれば、更に売上アップが見込める。</p>

(参考) ●「道の駅 とうじょう」の周辺環境数値

項 目	R3 年度	R2 年度	比較増減
ひょうご東条 I C 出入交通量	1,479,766 台	1,358,527 台	121,239 台増
同一日当たり平均	4,054 台	3,271 台	783 台増
南山地区人口	2,001 人	1,877 人	124 人増
おもちゃ王国入場者数	201,607 人	183,781 人	17,826 人増
清水寺参拝者数	66,341 人	64,096 人	2,245 人増
インターパーク企業数	30 社	29 社	1 社増
ゴルフ場利用者数	821,404 人	791,397 人	30,007 人増

2. 会社の概況 (令和4年3月31日現在)

(1) 発行済み株式の総数 550 株

(2) 株主と出資状況

株 主	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
加 東 市	275	50.0%
みのり農業協同組合	175	31.8%
加東市商工会	40	7.3%
兵庫県釣針協同組合	20	3.6%
東条農業者連合	20	3.6%
コスモス会	20	3.6%

※小数点以下を四捨五入しているため、持株比率の合計は 100% になりません。

取締役および監査役

役 職	氏 名
代表取締役社長	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
監 査 役	
監 査 役	

従業員の状態

雇用区分	氏 名
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	

パートアルバイト社員

部 署	人 数
事務所（事務）	1 人
特産館（販売）	6 人
コスモスの館（販売）	6 人
コンビニ	17 人

参考資料 1

令和3年度 道の駅とうじょう オリジナル商品等の売上状況

広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況

道の駅とうじょう 利用状況

道の駅とうじょう 売上状況

貸 借 対 照 表

令和 4年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 71,461,493】	【流動負債】	【 23,267,220】
現金・預金	58,213,812	買掛金	16,270,422
売掛金	357,379	未払金	6,509,035
売掛金クレジット	1,880,527	従業員預り金	△1,440
商品	6,363,466	源泉預り金	156,703
販売委託商品	100,967	住民預り金	240,000
貯蔵品	498,025	未払法人税等	92,500
短期貸付金	2,598,132	【固定負債】	【 7,490,000】
立替金	952,661	預り保証金	7,490,000
未収入金	259,108		
仮払金	4,326		
消費税預け金	255,534		
預け金	8,126		
貸倒引当金	△30,570	負債合計	30,757,220
【固定資産】	【 54,474,403】	純資産の部	
[有形固定資産]	[41,800,984]	【株主資本】	【 95,178,676】
建物	27,124,525	[資本金]	[30,000,000]
建物附属設備	5,959,206	[利益剰余金]	[65,178,676]
機械装置	3,393,020	利益準備金	5,060,000
車両運搬具	1	(その他利益剰余金)	(60,118,676)
什器備品	5,324,232	別途積立金	5,000,000
[無形固定資産]	[12,644,819]	繰越利益剰余金	55,118,676
繰延資産	12,389,564	(うち当期純損失)	(3,810,235)
ソフトウェア	255,255		
[投資その他の資産]	[28,600]		
出資金	8,600		
保証金	20,000	純資産合計	95,178,676
資産合計	125,935,896	負債・純資産合計	125,935,896

損 益 計 算 書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【純 売 上 高】		
商品売上高	77,816,877	
獅子銀売上高	4,600,000	
コンビニ売上高	210,727,891	
駅ラーメン華	1,840,000	
公衆電話自販機売上	1,761,808	
営業収入	2,195,126	
管理委託収入	4,500,000	
直売所売上	153,489,563	
もみの木売上	690,000	
アットレスト	570,000	458,191,265
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	6,367,546	
商品仕入高	181,980,607	
コンビニ仕入	153,267,423	
商品廃棄損	△7,684,215	
管理委託費	4,518,749	
合計	338,450,110	
期末棚卸高	6,363,466	332,086,644
売上総利益		126,104,621
【販売費及び一般管理費】		127,844,433
営業損失		1,739,812
【営業外収益】		
受取利息	45,369	
貸倒引当金戻入	30,500	
雑収入	2,301,661	2,377,530
【営業外費用】		
雑損失	13,739	13,739
経常利益		623,979
【特別損失】		
固定資産除却損	2,484,951	2,484,951
税引前当期純損失		1,860,972
法人税等充当額		1,949,263
当期純損失		3,810,235

販売費及び一般管理費

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日 (単位：円)

科 目	金 額
役 員 報 酬	336,000
給 料 手 当	38,460,976
賞 与	4,451,940
パートアルパ`ト給与	14,542,213
法 定 福 利 費	7,258,621
福 利 厚 生 費	1,702,880
広 告 宣 伝 費	3,199,211
運 賃	219,738
容 器 包 装 費	684,822
リ ー ス 料	343,322
水 道 光 熱 費	5,964,015
車 両 関 連 費	163,525
事 務 用 消 耗 品 費	194,686
消 耗 品 費	2,661,217
支 払 保 険 料	398,540
修 繕 費	2,172,870
租 税 公 課	260,400
減 価 償 却 費	8,871,090
接 待 交 際 費	124,442
旅 費 交 通 費	1,194,308
通 信 費	544,911
支 払 手 数 料	2,681,589
会 議 費	43,411
諸 会 費	173,540
貸 倒 引 当 金 繰 入	30,570
本 部 フ ィ ー	17,055,647
保 守 管 理 費	2,337,681
不 良 品 廃 棄	7,589,715
家 賃	1,200,000
雑 費	2,982,553
合 計	127,844,433

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000
利益剰余金		
利益準備金	当期首残高及び当期末残高	5,060,000
その他利益剰余金		
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	5,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	59,528,911
	当期変動額	剰余金の配当 △600,000 当期純損失 3,810,235
	当期末残高	55,118,676
利益剰余金合計	当期首残高	69,588,911
	当期変動額	△4,410,235
	当期末残高	65,178,676
株主資本合計	当期首残高	99,588,911
	当期変動額	△4,410,235
	当期末残高	95,178,676
純資産合計	当期首残高	99,588,911
	当期変動額	△4,410,235
	当期末残高	95,178,676

個 別 注 記 表

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する要領によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 資産の評価基準及び評価方法
 - ① たな卸資産の評価基準及び評価方法
商品・貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ① 有形固定資産
定率法
(平成10年4月1日以降に取得した建物・平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物は定額法)
 - ② 無形固定資産
定額法
 - ③ 繰延資産
定額法
 - (3) 収益及び費用の計上基準
収益・・・・・・・・実現主義
費用・・・・・・・・発生主義
 - (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。
3. 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項
発行済株式
普通株式（発行済株式）
当期末株式数（発行済普通株式） 550株
4. その他の注記

監 査 報 告

私監査役は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第23期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和 4年5月20日

監 査 役

監 査 役

報 告 書

前記の通りご報告申し上げます。

令和 4年5月20日

株式会社夢街人とうじょう

代表取締役

比較貸借対照表

令和 4年 3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
【流 動 資 産】	【 71,461,493】	【 75,279,407】	【 △3,817,914】	【 94.9】
現金・預金	58,213,812	61,952,195	△3,738,383	93.9
売掛金	357,379	512,016	△154,637	69.7
売掛金クレジット	1,880,527	1,180,565	699,962	159.2
商品	6,363,466	6,367,546	△4,080	99.9
販売委託商品	100,967	60,094	40,873	168.0
貯蔵品	498,025	558,894	△60,869	89.1
F C貸付金	2,598,132	3,141,965	△543,833	82.6
立替金	952,661	846,314	106,347	112.5
未収入金	259,108	255,340	3,768	101.4
消費税預け金	255,534	422,526	△166,992	60.4
預け金	8,126	8,126	0	100.0
仮払金	4,326	4,326	0	100.0
貸倒引当金	△30,570	△30,500	△70	100.2
【固 定 資 産】	【 54,474,403】	【 57,436,444】	【 △2,962,041】	【 94.8】
[有形固定資産]	[41,800,984]	[43,496,261]	[△1,695,277]	[96.1]
建物	27,124,525	25,771,997	1,352,528	105.2
建物附属設備	5,959,206	3,904,373	2,054,833	152.6
機械装置	3,393,020	5,001,672	△1,608,652	67.8
車両運搬具	1	1	0	100.0
什器備品	5,324,232	8,818,218	△3,493,986	60.3
[無形固定資産]	[12,644,819]	[13,911,583]	[△1,266,764]	[90.8]
繰延資産	12,389,564	13,401,077	△1,011,513	92.4
ソフトウェア	255,255	510,506	△255,251	50.0
[投資その他の資産]	[28,600]	[28,600]	[0]	[100.0]
出資金	8,600	8,600	0	100.0
保証金	20,000	20,000	0	100.0
資 産 合 計	125,935,896	132,715,851	△6,779,955	94.8
【流 動 負 債】	【 23,267,220】	【 25,636,940】	【 △2,369,720】	【 90.7】
買掛金	16,270,422	16,665,288	△394,866	97.6
未払金	6,509,035	5,569,118	939,917	116.8
従業員預り金	△1,440		△1,440	
源泉預り金	156,703	128,934	27,769	121.5
住民預り金	240,000	206,200	33,800	116.3
未払法人税等	92,500	3,067,400	△2,974,900	3.0
【固 定 負 債】	【 7,490,000】	【 7,490,000】	【 0】	【 100.0】

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比
預り保証金	7,490,000	7,490,000	0	% 100.0
負債合計	30,757,220	33,126,940	△2,369,720	92.8
【株主資本】	【 95,178,676】	【 99,588,911】	【 △4,410,235】	【 95.5】
資本金	30,000,000	30,000,000	0	100.0
[利益剰余金]	[65,178,676]	[69,588,911]	[△4,410,235]	[93.6]
利益準備金	5,060,000	5,060,000	0	100.0
(その他利益剰余金)	(60,118,676)	(64,528,911)	(△4,410,235)	(93.1)
別途積立金	5,000,000	5,000,000	0	100.0
繰越利益剰余金	55,118,676	59,528,911	△4,410,235	92.5
(うち当期純利益(損失))	(△3,810,235)	(8,978,012)	(△12,788,247)	
純資産合計	95,178,676	99,588,911	△4,410,235	95.5
負債・純資産合計	125,935,896	132,715,851	△6,779,955	94.8

比較損益計算書

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
【純 売 上 高】	【 458,191,265】	【 450,324,044】	【 7,867,221】	【 101.7】
商品売上高	77,816,877	78,089,003	△272,126	99.6
獅子銀売上高	4,600,000	4,400,000	200,000	104.5
コンビニ売上高	210,727,891	201,557,697	9,170,194	104.5
駅ラーメン華	1,840,000	1,760,000	80,000	104.5
もみの木売上	690,000	660,000	30,000	104.5
癒しや売上		8,000	△8,000	
アットレスト	570,000	326,000	244,000	174.8
公衆電話自販機売上	1,761,808	1,574,589	187,219	111.8
営業収入	2,195,126	2,445,830	△250,704	89.7
管理委託収入	4,500,000	4,450,000	50,000	101.1
直売所売上	153,489,563	155,052,925	△1,563,362	98.9
【売 上 原 価】	【 332,086,644】	【 325,359,170】	【 6,727,474】	【 102.0】
期首棚卸高	6,367,546	6,726,890	△359,344	94.6
商品仕入高	181,980,607	182,658,572	△677,965	99.6
コンビニ仕入	153,267,423	144,399,559	8,867,864	106.1
商品廃棄損	△7,684,215	△6,520,861	△1,163,354	117.8
管理委託費	4,518,749	4,462,556	56,193	101.2
期末棚卸高	6,363,466	6,367,546	△4,080	99.9
売上総利益	126,104,621	124,964,874	1,139,747	100.9
【販売費及び一般管理費】	【 127,844,433】	【 115,870,298】	【 11,974,135】	【 110.3】
営業利益(損失)	△1,739,812	9,094,576	△10,834,388	
【営業外収益】	【 2,377,530】	【 3,619,366】	【 △1,241,836】	【 65.6】
受取利息	45,369	47,318	△1,949	95.8
貸倒引当金戻入	30,500	26,000	4,500	117.3
雑収入	2,301,661	3,546,048	△1,244,387	64.9
【営業外費用】	【 13,739】	【 21,605】	【 △7,866】	【 63.5】
雑損失	13,739	21,605	△7,866	63.5
経常利益	623,979	12,692,337	△12,068,358	4.9
【特別損失】	【 2,484,951】	【 2】	【 2,484,949】	
固定資産除却損	2,484,951	2	2,484,949	
税引前当期純利益(損失)	△1,860,972	12,692,335	△14,553,307	
法人税等充当額	1,949,263	3,714,323	△1,765,060	52.4
当期純利益(損失)	△3,810,235	8,978,012	△12,788,247	

比較販売費及び一般管理費

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
役 員 報 酬	336,000	336,000	0	100.0
給 料 手 当	38,460,976	36,195,115	2,265,861	106.2
賞 与	4,451,940	4,299,700	152,240	103.5
法 定 福 利 費	7,258,621	6,420,913	837,708	113.0
福 利 厚 生 費	1,702,880	1,571,547	131,333	108.3
ハートアルパイト給与	14,542,213	13,655,898	886,315	106.4
広 告 宣 伝 費	3,199,211	3,459,670	△260,459	92.4
運 賃	219,738	293,905	△74,167	74.7
容 器 包 装 費	684,822	645,442	39,380	106.1
リ ー ス 料	343,322	301,224	42,098	113.9
本 部 フ ィ ー	17,055,647	17,510,790	△455,143	97.4
水 道 光 熱 費	5,964,015	5,820,684	143,331	102.4
車 両 関 連 費	163,525	120,686	42,839	135.4
事 務 用 消 耗 品 費	194,686	147,316	47,370	132.1
消 耗 品 費	2,661,217	2,494,764	166,453	106.6
支 払 保 険 料	398,540	349,220	49,320	114.1
修 繕 費	2,172,870	820,827	1,352,043	264.7
租 税 公 課	260,400	303,602	△43,202	85.7
減 価 償 却 費	8,871,090	5,856,017	3,015,073	151.4
接 待 交 際 費	124,442	194,948	△70,506	63.8
旅 費 交 通 費	1,194,308	1,199,352	△5,044	99.5
通 信 費	544,911	560,322	△15,411	97.2
支 払 手 数 料	2,681,589	2,660,530	21,059	100.7
会 議 費	43,411	26,247	17,164	165.3
諸 会 費	173,540	139,280	34,260	124.5
貸 倒 引 当 金 繰 入	30,570	30,500	70	100.2
保 守 管 理 費	2,337,681	1,236,635	1,101,046	189.0
不 良 品 廃 棄	7,589,715	6,460,841	1,128,874	117.4
家 賃	1,200,000		1,200,000	
雑 費	2,982,553	2,758,323	224,230	108.1
合 計	127,844,433	115,870,298	11,974,135	110.3

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

		当 期	前 期
株主資本		<u>30,000,000</u>	<u>30,000,000</u>
資本金	当期首残高及び当期末残高	<u>30,000,000</u>	<u>30,000,000</u>
利益剰余金			
利益準備金	当期首残高及び当期末残高	<u>5,060,000</u>	<u>5,060,000</u>
その他利益剰余金			
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	<u>5,000,000</u>	<u>5,000,000</u>
繰越利益剰余金	当期首残高	59,528,911	51,150,899
	当期変動額	△600,000	△600,000
		剰余金の配当	
		当期純利益(損失)	△3,810,235
	当期末残高	<u>55,118,676</u>	<u>59,528,911</u>
利益剰余金合計	当期首残高	69,588,911	61,210,899
	当期変動額	△4,410,235	8,378,012
	当期末残高	<u>65,178,676</u>	<u>69,588,911</u>
株主資本合計	当期首残高	99,588,911	91,210,899
	当期変動額	△4,410,235	8,378,012
	当期末残高	<u>95,178,676</u>	<u>99,588,911</u>
純資産合計	当期首残高	99,588,911	91,210,899
	当期変動額	△4,410,235	8,378,012
	当期末残高	<u>95,178,676</u>	<u>99,588,911</u>

第 2 3 期部門別損益計算書

○部門別人件費資料（令和4年3月31日現在）

第24期 事業計画

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

1. 重点事項

- (1) 当道の駅施設が利用者にとって有効に機能する様に創意工夫に努め、道の駅の3大機能である「休憩」・「情報交流」・「地域の連携」を体感できる安全で活力のある道の駅の運営を目指す。
- (2) 施設の設置目的である地場製品の展示販売による消費の拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して来駅者と地域住民の交流を促し、活性化に貢献できる企画を立案し、実行する。

2. 今年度基本方針

- (1) 行政との連携を強化する。
 - ・ インターパーク内企業と情報共有を図り、南山地域の活性化に貢献する。
 - ・ 兵庫県道の駅連絡会、近畿道の駅連絡会のネットワークを通して他の道の駅との連携を強化し、集客アップの企画、新商品開発、セキュリティ面の対応などの情報を共有し、安全で楽しい道の駅の運営に活かす。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、小売業のガイドラインを遵守した施設運営に努め、市及び県の要請等に対しても迅速に対応して、来駅者が安心して施設を利用できるよう心掛ける。
- (2) 農産物直売所と特産館の両売場が行き来しやすいよう動線を工夫し、加東市産の食材を利用したオリジナル商品の開発取り組んで、売上及び利用者の更なる増加を目標とする。
- (3) 年に一度、利用者の多い3月に施設状況や品揃え、接客等に関してアンケートを実施し、利用者の満足度を把握し健全な運営に活かす。
- (4) 「情報・休憩コーナー」の整理整頓に努め、北播地域及び県下のタイムリーかつ優良な情報と、清潔で気持ちよく過ごせる場所が提供出来るよう、創意工夫に努める。
- (5) 従業員がお互いに協力し合い、道の駅の従業員として誇りを持って職務を遂行できるよう職場環境を整え、秩序の保持に努める。

【物販・サービス施設関係】

- ・道の駅として相応しい利用者にとって魅力のある商品やサービスをより進化させて提供できるよう努力する。
- ・ホームページやSNSで、旬の野菜を使ったレシピを紹介し、家庭内調理の提案を行う。また、加東市や北播磨地区の文化や特産品、新商品や酒類を紹介し、来店を促すよう働きかける。

<特産館・夢街人>

①地域産品の訴求

山田錦を使用した酒類・菓子類の販売をより強化する。

②菓子類・自家需要商品の強化

売上が見込めてかつ利益率の高い菓子類、季節やイベントを意識した菓子類・食品を増やして収益率の向上を図る。コロナ禍による家庭内での調理需要の拡大、健康維持・増進志向が高まっているため、調味料類や発酵系食品の取り扱いを増やす。

③兵庫県下を中心に全国の有名産地の名産品の品揃え

北播地区特産品に関連した商品を増やす。(いちご、桃、もち麦)

④近隣のゴルフ場での特産品・土産品の展示販売

季節に応じた商品の陳列(常設)をはじめ、先方担当者とコミュニケーションを図り、コンペ情報を入手して売上拡大及び来駅につなげる。

⑤営業日及び季節による営業時間の変更(昨年同様)

原則、毎日営業日とする。(不定休:メンテナンスの為の休業、年末年始)

人件費、営業効率面から10月~6月の閉店時間を平日は18時30分、土日祝日は19時、客数が増加する7月、8月は全日19時、1月、2月は閉店時間を全日18時に繰り上げる。

<農産物直売所・コスモスの館> ※営業日、営業時間は特産館と同じ。

- ①現在休止中の新規生産者の募集を既存生産者からの紹介を条件に再開する。
- ②令和3年度はコスモス会の葉菜類の売上が前年度を下回ったため、令和4年度は東条ネギの販売強化に取り組む。施策として、販売コンテストを実施し、売上上位の生産者を表彰し、販売促進につなげる。
- ③黒枝豆の販売強化として即売会を企画し、利用者にアピールすることで販売増を狙う。
- ④果実類(ぶどう・桃)の人気が高く、売上をまだ伸ばせる余地がある。桃については、既に新規生産者1名を開拓済、ぶどうについては、北播磨のスタンプラリー企画が実施されることから、人気品種の「シャインマスカット」を中心に、皮ごと食べられる

ぶどうを多く提供できるよう生産者へ要請し、加東市の特産品としてアピールできるよう努める。

- ⑤特産館と同様、営業日及び季節による営業時間の変更を実施する。

<コンビニ・ファミリーマート>

- ①収益率の向上と廃棄率の抑制に努める。

カウンターフーズ、中食（おにぎり、弁当、サンドイッチ類）の品ぞろえを強化、イベントの予定や天気予報で客数を予測するとともに、商品カテゴリー別売上傾向の結果を踏まえ、売上と納品数量のバランスをとる。（発注調整）

- ②新型コロナウイルスによるステイホームで家庭内調理が増えたことを踏まえ、日常使いの冷凍食品、酒類、日用品、健康志向商品などの品揃えの強化を図る。

- ③利用者のニーズに合わせた売り場作りを行う。

季節に応じた陳列台の拡張レイアウトを実施する。

子育て層（おもちゃ王国来場者、ミナクル利用者）、シニア層、ゴルフ客を戦略ターゲットとして、商品の特徴をとらえたPOP、見やすく手に取りやすい陳列を行う。

<レストラン・獅子銀>

- ①更なる固定客増加と来店頻度を上げるため、平日のランチタイム用のメニューに季節に応じた期間限定メニューを追加し、ポイントカードの週二回ダブルポイントを実施する。

- ②GW、お盆や年始の繁忙期には特別メニューを展開し、待ち時間を短縮して回転率を上げるよう工夫する。加えて土日祝日、春休みや夏休みの時期は単品メニューやお子様向けメニューを増やして客単価のアップを目指す。

- ③15時から17時のアイドルタイムの集客アップ策として、ゴルフ帰りのお客様向けに豪華メニュー、買い物帰りのお客様向けにスイーツとドリンクのセットメニューを展開する。

<駅ラーメン華>

- ①原材料の高騰による全メニューの単価アップに伴い、割引の特典を設けたポイントカードを導入し、固定客の確保に努める。

- ②単価アップ前よりもメニュー数を増やし、餃子の新メニューを展開するなど、お客様の値上げによる不満を緩和するよう努める。

- ③平日ランチタイムの混雑時にスムーズに料理を提供できるよう、厨房内のレイアウトや店内動線を工夫する。

<アロマリラクゼーションサロン・もみの木HOUSE>

- ①顧客へ『アロマセラピーによる免疫力アップ』『家族でできるマッサージ方法』をSNSで配信し、アロマオイルやグッズなどの商品売上及び次回の来店につなげる。
- ②アロマセラピストを、目指したいお客様の要望もあり、知識と技術をサポートしていくためにアロマセラピスト育成認定資格を取得し、同業他者よりブランド力を高め、既存顧客の来店頻度を上げて、紹介による新規顧客の開拓につなげる。

<トータルボディメンテナンス・at rest>

- ①新規顧客の開拓に努める。
店舗前に当日の空き時間を掲示、「短時間での施術可能」と記載したPOPを配置して、新規の来店を促すよう工夫する。
- ②既存顧客の来店頻度を上げられるよう、SNSで当日の空き時間や季節に応じた体調管理方法などの情報発信を行う。

<情報・休憩コーナー>

- ①北播磨地域を中心に、正確でタイムリーな情報を効率よく提供出来るように工夫する。ポスター、チラシの優先順位明確化し、常に整理整頓に努める。
- ②地元加東市の求人情報コーナーの設置（継続）
- ③喚気や消毒液の設置など感染症対策に留意し、利用者に対して短時間利用を促す啓発POPを配置して、安心して利用してもらえるような設備の維持管理に努める。

3. 施設管理の計画

施設名	営業時間	休館日
特産館 「夢街人」	平日 9時～18時30分 土日祝 9時～19時 ※1月、2月は全日18時閉店 7月、8月は全日19時閉店	不定休 年度内数日休 年末年始
農産物直売所 「コスモスの館」	「特産館」に準じる	「特産館」に準じる。
コンビニ 「ファミリーマート」	24時間営業	無休

レストラン 「獅子銀」	9時～20時 (ラストオーダー 19時30分)	年末年始
レストラン 「駅ラーメン華」	11時～15時30分 17時30分～20時 (ラストオーダー 19時30分)	木曜日
アロマリラクゼーション 「もみの木HOUSE」	10時～18時 (最終受付 17時)	月曜日
トータルボディメンテナンス 「a t r e s t」	12時～21時 (最終受付 20時)	火曜日
情報・休憩室	24時間開放	無休
トイレ	24時間使用可	無休

■勤務時間

- 特産館 : 8時45分から18時45分まで
(土日祝、7月、8月の19時閉店時は19時15分まで、
1、2月の18時閉店時は18時15分まで勤務)
- 直売所 : 特産館に準じる。
- コンビニ : 6時から翌6時まで

■勤務体制

特産館 (総務を含む)

社員 (駅長、経理担当社員)、パート従業員のシフト表による1箇月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制

直売所

社員 (部長)、パート従業員のシフト表による1箇月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制

コンビニ

社員 (店長)、パート従業員のシフト表による1箇月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制 (※深夜勤務有り)

第24期収支計画

収入の部

支出の部

総務

(単位：千円)

項目	4年度計画	3年度実績	差額	前期比	項目	4年度計画	3年度実績	差額	前期比
売上	14,000	13,962	38	100.3%	売上原価	4,550	4,519	31	100.7%
					人件費	11,050	10,752	298	102.8%
					光熱水費	950	943	7	100.7%
					一般管理費	11,300	11,220	80	100.7%
営業外収入	2,000	1,657	343	120.7%	営業外費用	20	6	14	333.3%
合計	16,000	15,619	381	102.4%	合計	27,870	27,440	430	101.6%
					収支差額	△ 11,870	△ 11,821	△ 49	99.6%

特産館「夢街人」

(単位：千円)

項目	4年度計画	3年度実績	差額	前期比	項目	4年度計画	3年度実績	差額	前期比
売上	78,000	77,817	183	100.2%	売上原価	55,800	55,361	439	100.8%
					人件費	10,600	10,305	295	102.9%
					光熱水費	850	840	10	101.2%
					一般管理費	3,930	4,588	△ 658	85.7%
営業外収入	11	1	10	1100.0%	営業外費用	10	5	5	200.0%
合計	78,011	77,818	193	100.2%	合計	71,190	71,099	91	100.1%
					収支差額	6,821	6,719	102	101.5%

農産物直売所「コスモスの館」

(単位：千円)

項目	4年度計画	3年度実績	差額	前期比	項目	4年度計画	3年度実績	差額	前期比
売上	155,500	153,490	2,010	101.3%	売上原価	127,500	126,735	765	100.6%
					人件費	15,900	15,456	444	102.9%
					光熱水費	900	902	△ 2	99.8%
					一般管理費	9,120	9,948	△ 828	91.7%
営業外収入	670	665	5	100.8%	営業外費用	1	2	△ 1	50.0%
合計	156,170	154,155	2,015	101.3%	合計	153,421	153,043	378	100.2%
					収支差額	2,749	1,112	1,637	247.2%

コンビニエンスストア「ファミリーマート」

(単位：千円)

項目	4年度計画	3年度実績	差額	前期比	項目	4年度計画	3年度実績	差額	前期比
売上	220,000	210,728	9,272	104.4%	売上原価	151,900	145,472	6,428	104.4%
営業収入	2,300	2,195	105	104.8%	人件費	31,120	30,239	881	102.9%
					光熱水費	3,300	3,280	20	100.6%
					一般管理費	29,500	29,374	126	100.4%
営業外収入	50	54	△ 4	92.6%	営業外費用	0	2,485	△ 2,485	—
合計	222,350	212,977	9,373	104.4%	合計	215,820	210,850	4,970	102.4%
					収支差額	6,530	2,127	4,403	307.0%

総合計

(単位：千円)

項目	4年度計画	3年度実績	差額	前期比	項目	4年度計画	3年度実績	差額	前期比
売上	467,500	455,997	11,503	102.5%	売上原価	339,750	332,087	7,663	102.3%
営業収入	2,300	2,195	105	104.8%	人件費	68,670	66,752	1,918	102.9%
					光熱水費	6,000	5,965	35	100.6%
					一般管理費	53,850	55,130	△ 1,280	97.7%
営業外収入	2,731	2,377	354	114.9%	営業外費用	31	2,498	△ 2,467	1.2%
合計	472,531	460,569	11,962	102.6%	合計	468,301	462,432	5,869	101.3%
					収支差額	4,230	△ 1,863	6,093	227.1%

※収支差額：経常利益（税引前当期純利益）※法人税等は含まず